



幡豆中学校

はずと歩む



～地域を見つめ、新たな幡豆の未来を創造する生徒の育成～

- 1 「にしがま線夢シーサイドウォーク」の行事を継続することで、校区のよさを実感し、広い地域を自らの目で見つめ、心豊かでたくましい生徒を育てる。
- 2 身のまわりの「人・もの・こと」に感謝の気持ちを持ち、幡豆中生として地域の方やお世話になった方のために、今できることを考え、実践できる生徒を育てる。
- 3 「学校の新しい生活様式」を継続して取り入れ、一人一台のタブレットを活用しつつ、一人一人の「わかった、できた」を大切に、自ら学ぶ意欲をもつことができる生徒を育てる。

にしがま線夢シーサイドウォーク

- ・幡豆の歴史や魅力にふれたり体感したりして、未来の幡豆について考えます。
- ・名鉄西尾蒲郡線存続に向けて、校区を越えた連携について理解を深めます。
- ・名鉄西尾蒲郡線沿い近くや、海岸線沿いの約20kmのコースをグループに分かれて歩きます。



サンクス活動 ～思いを形に～



- ・生徒会、委員会、執行委員会を中心に地域の方や、お世話になった方に感謝の気持ちを形にして伝えます。
- ・長い間、毎日給食を作ってくくださった、幡豆学校給食センターの方へ、全校生徒一人一人のメッセージをサンクスレターとして届けます。
- ・修学旅行でお世話になった方や、ボランティア活動でお世話になった地域の方にお礼の手紙を送ります。

新しい生活様式を取り入れた授業

- ・「マスクの着用」「手指衛生」などの基本的な感染対策を継続して、教育活動を進めます。
- ・生徒が「わかる」「できる」喜びを感じる授業を行うための教材研究を進めます。

